

## 鴨川下流域拠点の整備について

### 整備内容の方向

鴨川上流域の桜（「半木の道」、「志波む（師範）桜」、「高野川の桜」、「花の回廊」）と差別化を図り、下流域を次のような方向で整備し京都の新たな名所を創出する。詳細内容は、地元、専門家（桜守）などの意見を踏まえて決定していく。

京都に由来する（名称、原木のあった場所など）桜並木の整備

様々な色（白、淡紅、濃紅、紫、黄・緑）や異なる開花時期（3月中旬～4月下旬）の桜を植栽



### 四季を感じる樹木の植栽

中高木： サルスベリ（8月） キョウチクトウ（6～9月）



低木： ツツジ（4～7月） ユキヤナギ（4月） アジサイ（6～7月）

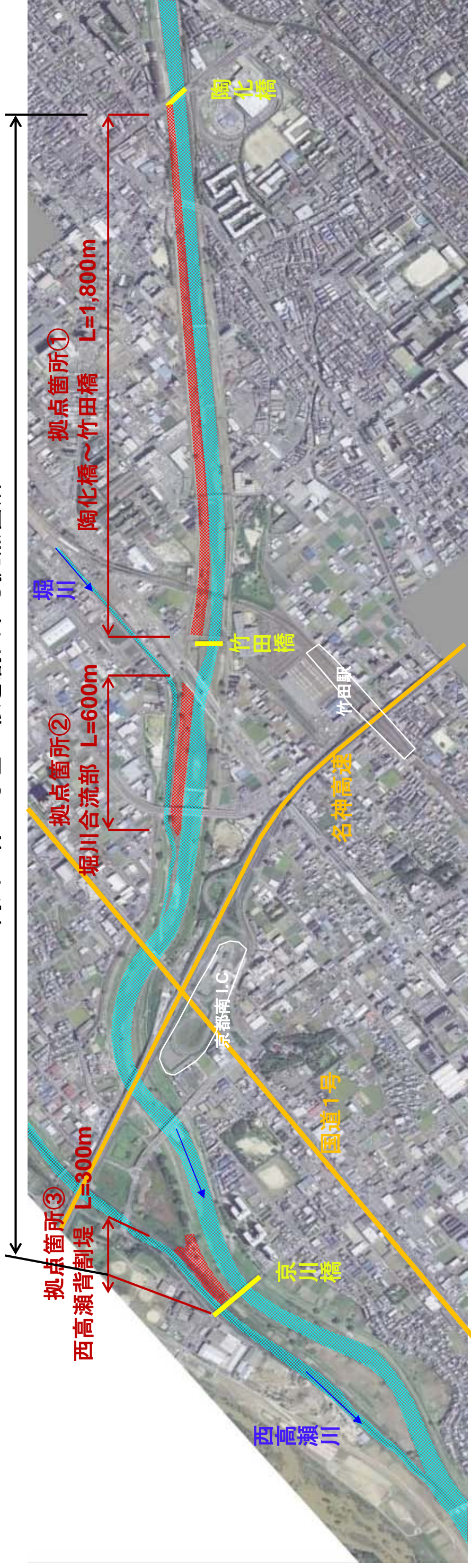


樹木による休憩場所の設置 藤棚（5月）

植栽にあたっては、里親・オーナー制度や川版モデルフォレストなどを活用し、整備・管理を行う。

下流拠点整備区間の上流域との差別化

鴨川に様々な色の桜を創出する拠点箇所



■ 下流整備（候補地におけるイメージ）

< 花の色や開花時期に変化をつけた桜並木整備 >

- ・連続性のある空間を活かし、荒川の五色桜のような花の色や開花時期の変化をつけた並木植栽・休憩スポット等の整備を図り、新しい景観を創出
- ・河川改修と合わせた親水性のある高水敷の環境整備



勸進橋付近整備イメージ

京都ゆかりの桜、違う花の色の桜



市原虎の尾(白)



衣笠(淡紅)



貴船雲珠(牡丹)(淡紅)



御所左近の桜(淡紅)



木の花桜(白淡紅)



手弱女(牡丹)(淡紅)



法輪寺(淡紅)



二尊院(淡紅)



関山(濃紅)



紫桜(紫)



右近(淡黄)



御衣黄(黄緑)